



PRESS RELEASE

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

<Tokyo 2020.NEWS-2019-278>

2019年9月2日

日本郵政株式会社との 「東京 2020 オリンピック聖火リレーサポーターシップ契約」 締結について

東京 2020 組織委員会は、以下のとおり、東京 2020 オリンピック聖火リレーサポーターシップ契約を締結しましたので、お知らせします。

■ 契約内容

東京 2020 オリンピック聖火リレーサポーターシップ契約

■ 契約の相手方

会社名：日本郵政株式会社

本社：東京都千代田区

代表者：取締役兼代表執行役社長 長門 正貢（ながと まさつぐ）

■ サポーターシップパートナーの主なスポンサー権利

呼称・マーク類・関連素材使用权／リコグニッションプログラム／商品・サービスのサプライ機会
／マーケティングサポート等

■ 東京 2020 オリンピック聖火リレーパートナーシップ契約について

東京 2020 オリンピック聖火リレースポンサーシッププログラムは 3 つの階層で、プレゼンティングパートナー、サポーターシップパートナー、アソシエーティングパートナーからなります。東京 2020 は、本プログラムにご参加いただく東京 2020 オリンピック聖火リレーパートナー各社とともに、東京 2020 オリンピック聖火リレーをこれまで以上に世界中のファンや選手にとって忘れられない特別なイベントにしてまいります。

Tokyo 2020 Olympic Torch Relay Presenting Partners



TOYOTA



日本生命



Tokyo 2020 Olympic Torch Relay Supporting Partners



日本郵便



TOKYO 2020

■ 長門 正貢 日本郵政株式会社取締役兼代表執行役社長コメント

いよいよ東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会がやってきます。その歓び、その熱気、それらがもたらす未来への期待を、東京から日本中に拡げていく。それが日本郵政の使命です。日本郵便は、東京 2020 オリンピック聖火リレーサポーターティングパートナーとして、全国すみずみまで張り巡らされた郵便局ネットワークを活用し、郵便事業を通じて東京 2020 オリンピック聖火リレーコンセプト「Hope Lights Our Way／希望の道を、つなごう。」の実現に貢献いたします。

■ 森 喜朗 東京 2020 組織委員会会長コメント

このたび、日本郵政株式会社と東京 2020 オリンピック聖火リレーのサポーターティングパートナー契約が合意に至りました。121 日間をかけて日本全国を行脚するオリンピック聖火リレーの成功のために、まさに日本全国に存在する郵便局の郵便ネットワークを活用して一人でも多くの皆様と触れ合いながら、東京 2020 大会に向けた機運が醸成していくことを期待しております。

【東京 2020 オリンピック聖火リレーについて】

2020 年 3 月 12 日にギリシャの古代オリンピックの聖地であるオリンピアの太陽光から採火されたオリンピック聖火は、3 月 20 日に宮城県にある航空自衛隊松島基地に到着し、その後、宮城県・岩手県・福島県にて「復興の火」として各 2 日間展示されます。その後 3 月 26 日に福島県を出発し、開会式が行われる 7 月 24 日まで 121 日間（移動日含む）をかけて日本全国を回ります。オリンピックのシンボルである聖火を掲げることにより、平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を体現し、開催国全体にオリンピックを広め、きたるオリンピックへの関心と期待を呼び起こします。

【本件に関するお問い合わせ】

東京 2020 組織委員会

広報局広報部戦略広報課

電話：03-6631-1949 / FAX：03-6220-5801

担当：女屋、早川

Email：pressoffice@tokyo2020.jp

東京 2020 オリンピック聖火リレー コンセプト

Hope Lights Our Way

—希望の道を、つなごう。—

支えあい、認めあい、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らします。

<https://tokyo2020.org/jp/games/torch/olympic/>